

平成24年3月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成24年3月22日(木) 三好市教育委員会 会議室
開会 午後2時00分
閉会 午後3時22分

(2) 出席委員の氏名

委員長 岡本 佳代子 委員長職務代理者 小松 正
委員 森本 久美子 委員 谷 敏司
教育長 倉本 淳一

(3) 委員を除くほか、議場に出席した者の氏名

◆出席職員

教育次長	田岡 啓子		
学校教育課長	伊原 清幸	生涯学習課長	鈴木 良英
文化財課	中岡 久雄	スポーツ健康課長	辺見 進一
教育指導主事	喜多 雅文		

◆傍聴人 0名

(4) 議事録署名者の指名

小松 正 委員

(5) 報告事項

①教育長等の報告の要旨

(倉本教育長)

行事について行事一覧表にそって説明します。

2月27日井川町公民館で学校支援ボランティア実行委員会を開催しました。この日は、三野町でもボランティアの実行委員会がありました。三野町は55人、井川は70人を超えた方の登録がありました。立ち上げが23年7月だったのですが、半年少々に活発な動きをしてきているようです。24年度は、残りの地区で組織を立ち上げていきたいと思えます。

2月28日エドバイザー会議を開催しました。5人の方に学校訪問をお願いしていて、基本的には年3回行っていただいています。どなたも、昨年より充実してきたと手ごたえを感じているようです。平成24年度も実施しますが、検証・評価をしながら改善するところは改善していきたいと思います。

3月1日に議会が開催されました。議会については、あとで、次長からまとめて報告します。

3月2日被災地派遣壮行式をここで行いました。文化財課の林愛子さんが、東北の女川町に2週間行っていただきました。ちょうど、派遣中に余震があったり、雪が降ったり、大変だったようですが元気に帰ってきました。地元の皆さんに温かく接していただき、活動が十分できたと報告を受けました。

同じく、3月2日幼稚園の問題で市職員組合交渉を受けました。幼稚園は4歳5歳を中心に受け入れています。吾橋だけは、へき地ということで3歳児も受け入れています。人数が少ないことから、混合でクラス編成しています。基準として、16人以下は1クラスとしていますが、その基準を下げてほしいという要望でした。しかし、全国的には35人程度ということで、三好市はかなり低い基準となっているので、これ以上、下げることは難しいという回答をしました。

3月6日櫛生小学校で、学校支援ボランティア実行委員会を開催しました。50人ほどの方が登録してくれていまして、他の地区のモデル地区となっています。

3月8日から14日まで、議会の代表質問がありました。

3月13日、教職員人事異動案に原案の通り調印しました。本日、学校で学校長が内示をしていると思います。

3月19日、議会の文教厚生委員会がありました。

行事予定については、4月2日辞令交付式を保健センターでいたします。

4月5日に市町村教委連絡協議会が県総合教育センターであります。できれば、ご参加ください。

4月24日市町村教委連合会総会が徳島市役所であります。

次回定例会は、4月25日を予定しています。

ここには書いていませんが、4月1日東祖谷の資料館がオープンします。また、4月9日に東祖谷小学校が開校します。開校式がありますので、参加していただきたいと思います。

(岡本委員長)

何か質問はありますか。

それでは、報告事項は以上とします。

(6) 議題および議事の概要

【議題】

- ① 2月定例会議事録の承認について
- ② 平成24年3月市議会の質疑について
- ③ 平成24年度三好市教育委員会辞令交付式について
- ④ 平成24年度入園式、入学式について
- ⑤ 教職員の人事異動について
- ⑥ 三好市奨学生選考委員会委員について
- ⑦ 当面の課題について

(岡本委員長)

続いて、議題に移ります。まず、1番の平成23年2月定例会議録の承認について、事務局より説明を願います。

(伊原学校教育課長)

事前に送付させていただきましたが、訂正がありましたら、ご指摘をいただきたいと思います。

(各委員)

承認します。

(岡本委員長)

それでは、2番の平成24年3月市議会の質疑についてお願いします。

(田岡教育次長)

それでは、平成24年度3月市議会の質疑についてということで私のほうから簡単に報告いたします。今回は、一般質問2名 西内議員と平田議員からありました。

西内議員からは、放射能教育に対する学校現場の動きについてと、新学習指導要領における市内中学校の武道の選択及び事故時の責任についてということで、教育長が答弁いたしました。

内容といたしましては、放射能教育については、文部科学省が作成した「放射能等に関する副読本」は、新学期に間に合うように配布予定であり、児童・生徒の発達段階や地域性にも考慮しながら有効活用を図り、適切な放射能教育を実践するよう各学校に対し指示の徹底を図りたいと思います。もう一点の体育の選択ですが、今年4月より武道が必修化され、中学校3校(池田・井川・東祖谷)が柔道、残り3校が剣道となっています。生徒の安全性確保のため、教職員に講習会等で実技の経験を積んでいただき、生徒たちが安心、

安全で楽しい武道の授業が受けることができる指導体制を整えたい。また、事故の場合の治療費等は、日本スポーツ振興センター災害共済給付金、責任問題は三好市あるいは三好市教育委員会が負うこととなります。と答弁いたしました。

平田議員からは、国民文化祭の「新たなかたち」とはどういうことかということで、次長の私が答弁しました。国文祭では、一流の音楽家による演奏会が、地域住民との共演により提供され、一流の技術指導も行われるなど地域に密着したクラシックコンサートが開催でき、地域の音楽文化の底上げや音楽の活性化が図られる。これが、音楽文化の新しい形のコンサートである。と答弁いたしました。

次に、議案質疑では、教員宿舎管理費において、教員宿舎の場所と数、池田町中西の教員宿舎について、学校給食費の集金方法、給食費の未納金額について質問があり、答弁としてそれぞれ担当課長から、宿舎25棟、96戸設置、平成24年2月末現在51人入居。池田町中西教員宿舎は、平成21年度以降入居無し、今後は、処分について検討いたします。

給食費については、一部の学校を除いて現金で集金しています。基本的には、毎月20日前後に月末までの見込みを集金し、翌月に調整しています。22年度の未納額はなしです。

3月19日文教厚生常任委員会で、学校教育課の公用車の安全管理、例えばタイヤの交換などどのように行っているか、教員宿舎の土地借地料や未使用の宿舎の借用や売買について今後どのような対応をしていくのか、あるいは先ほど教育長からも説明がありましたが、幼稚園のクラス編成の基準に関しても4歳児と5歳児の混合保育は発育段階で問題がないのか等のやりとりがありました。

生涯学習課の方では、ふるさと交流センター指定管理料の内訳について、指定管理料、人件費等について、公民館の修繕料明細や市内公民館の集約、今後の市の全体計画が必要ではないか、との質問がありました。

文化財課には、質問はなく、スポーツ健康課には市体育協会補助金等についての質問がありました。

議会は27日に閉会ですが、小松委員さんの任命の人事案件が追加提案の予定です。

以上 報告いたします。

(岡本委員長)

なにか、ご質問ありませんか。

(小松教育委員)

新聞の記事で見たと思うのですが、東祖谷に認定子ども園が出来ると市長が答弁したようですが、その件について詳しい話と、教育委員会としての考えをお聞かせいただきたいと思います。

(倉本教育長)

認定子ども園は、子育て支援課の管轄となっています。東祖谷中学校の建物の上に幼稚園機能を備えた保育所を作るということです。ただ、法律が変わって、総合子ども園になるという話もあります。一つの保育所の中に、保育所と幼稚園の機能を持ったというものですが、まだ募集をしていませんので、どれくらいの希望があるかわかりません。

(小松教育委員)

三野の保育所も、幼稚園機能を備えた認定子ども園になれば、入園希望者も出てくるのではと思いますが。

(田岡教育次長)

保育所はこれから、3年くらいで子ども園に移行していかなければなりません。たとえば、三野は幼稚園がないので保育所を子ども園に移行することは可能だと思います。そうなると、幼稚園に行く年齢の子どもさんと、保護者が在宅の場合も子ども園の幼稚園の部分に行けるようになります。いわゆる、保育所型の子ども園という形になります。東祖谷の場合は現在、落合と栃ノ瀬にある保育所をこの秋に統合し、保育所として開園し、市長が答弁したように25年の4月から認定子ども園になります。現在、落合と栃ノ瀬にある保育所は3歳児以上が対象で、乳幼児の受け入れができませんでした。新しい保育所は乳幼児から受け入れが出来る施設となっており、そのまま、25年に幼稚園の子を受け入れられるような子ども園となります。現在の法律上、認定子ども園というものしかありませんので、認定子ども園か、総合子ども園にするかといった判断は、自治体でするようになります。

(谷教育委員)

認定子ども園になった場合の、保護者側のメリットとしては幼稚園教育が受けられることと、保育園と違って、保護者が仕事をしていなくても受け入れてもらえるということで、メリットがたくさんあるということです。

(田岡教育次長)

幼稚園は、保育に欠けない子を受け入れて就学前の教育を受ける、保育所は保育に欠ける子を受け入れるというところが大きな違いです。ここが一緒になるのでメリットは大きいと思います。

(森本教育委員)

保育料とかはどうなりますか。

(田岡教育次長)

そこまではまだ決まっています。

(岡本教育委員長)

幼稚園は定額、保育所は所得に応じてですよえ。

(伊原学校教育課長)

そうです。

(森本教育委員)

子育てをされている親御さんの負担にならないように教育を受けられるのが一番いいですね。

(田岡教育次長)

保育料で一番のメリットは、3歳児以上は25,000円が最高で、四国一安いと思います。

(谷教育委員)

合併前までは、東祖谷の保育料が一番高くて、合併後他の町村に合わせたので、とても安くなりました。

(倉本教育長)

2、3年前までは、幼稚園は教育、保育所は保育ということで、就学前教育のあり方が違っていました。今は、保育所に教育の部分が入ってきたので、幼稚園とする教育も、保育所とする教育も同じになってきました。今の全体的な社会の流れとして、働いている人が多いので、遅くまで預かってほしいというニーズがあります。

個人的な意見ではありますが、同じ内容の教育が受けられるのであれば、料金の問題を別として、長く預かってもらえる保育所に子どもたちが集まるのではという懸念があります。

(岡本教育委員長)

まだ移行の段階なので、教育の内容にはまだ差があると思いますが、元々の設置の目的が違いますね。

先ほど、給食費は現金と答弁されてといわれましたが、口座振替もありませんか。

(田岡教育次長)

池田中学校と、芝生小学校で行っています。

(岡本教育委員長)

そうですか。もっと、多いかと思いました。子どもが現金を持ってくるのというのも、高額なのでなるべく口座が増えてくるといいと思います。

それでは、次の議題に移りたいと思います。平成24年度三好市教育委員会辞令交付式についてお願いします。

(伊原学校教育課長)

辞令交付式を4月2日に保健センターで、10時に開始予定しています。ご案内はまた後日させていただきます。

(岡本教育委員長)

続いて、平成24年度入園式、入学式についてお願いします。

(伊原学校教育課長)

入学式については前回、名前を入れさせていただきましたが、その後、ご都合が悪くなった方はいらっしゃいませんか。

(岡本教育委員長)

いないようです。次に、教職員の人事異動についてお願いします。

(倉本教育長)

全体的な内容につきましては、資料のとおりです。ご確認いただき、個別の内容につきましては、省略させていただきます。

(森本教育委員)

それでは、6番目三好市奨学生選考委員会委員についてお願いします。

(伊原学校教育課長)

それでは、資料の最後のページをご覧ください。選考委員さんの任期が2年で、今年度末で任期満了となります。みなさんには引き続き選考委員をお願いしたいと思います。それと、現在、教育次長と学校教育課長の名前が委員として入っていますが、事務局となりますのではずしていただき、合計10人で構成させていただきたいと思います。

24年度の選考委員会を3月26日保健センターで10時から開催したいと思います。

当日までに応募のありました奨学生希望者の選考をお願いしたいと思います。

(岡本教育委員長)

この点についてはよろしいでしょうか。

つぎに、当面の課題について、なにかございますか。

(小松教育委員)

教育委員会評価の内容についての質問ですが、教育委員の研修というのがありますが、この回数はあっていますか。

(伊原学校教育課長)

これは、22年度の数字です。23年度はまだ数字を出していません。

4月の教育委員会でまとめたらいいと思っておりましたので、次の委員会のために自己評価したものを、お渡ししたいと思います。

(倉本教育長)

まだ先のことになりますが、今年は伊吹島等に研修に行きましたが、来年度もどこか研修に行きたいというご希望がありましたら、ご意見お聞かせください。

たとえば、認定子ども園の視察に行くとか、どうでしょうか。

(谷教育委員)

小中併設の学校がまだあれば視察に行ってみたいと思います。というのは、いままでは準備期間で、いろいろな問題が出てくるのは今からだと思いますので、学校の先生の意見等聞きながら、視察に行ってみたいと思いますが。

(倉本教育長)

梶原町には、事務局だけで行きましたが、そこか佐那河内がいいかと思しますので、検討してみます。

(岡本教育委員長)

ほか、なにかございますか。

(小松教育委員)

三好市の障害者自立支援協議会のメンバーということで、昨年末からさせていただいていますが、第3回の障害者福祉計画の策定をしています。その中で、学校教育の中での

障害者の問題をどうするかという話が次回出てくると思います。まだ話はしていませんが、教育委員会の事務局サイドともよく話をしてみてくださいとお話ししましたが、なにかきていますか。

(伊原学校教育課長)

まだ来ていないようです。

(倉本教育長)

教育委員会としてのスタンスは、教育振興計画の中に、ノーマライゼーションとか、人権教育の部分で、支援の必要な子どもの教育について書いてある通りだと思います。

新設の学校は、バリアフリーになっていますし、既設の学校も必要に応じて整備しています。支援員の配置は、全体で30人近くです。この支援員の数は、県内でも突出して手厚い配置となっています。

支援員の配置は、就学指導委員会での判定を受けて、決定しています。

平成19年に法改正があつて、支援を要する範囲というのが広がり、学習障害などの項目も入るようになって、特別支援教育というのは昔とはまったく違ってきていますし、重要性も広がってきています。

(岡本教育委員長)

この件については、小松委員さんに、しっかり発言してきていただきたいと思います。つぎに、私の方から1点よろしいでしょうか。

先日、西山小学校の休校式に出席させていただきましたが、その時に馬場の保護者の方に呼び止められ、小学生は通学の補助でタクシーを出していただいています、中学生には補助がなく、保護者の負担となっているので、どうにかならないものかと、お話をされました。また、相談しておきますと言いましたが、現在、どのような制度になっていますか。

(伊原学校教育課長)

現在、学校を通じて、相談を受けています。馬場・西山小学校の子どもさんについては、池田小学校に来てもらうので、その交通手段は委員会の方で最低限の確保をします。しかし、西山小学校区の中学生はもともと歩いて池田中学校に来ていたため、西山小学校区の中学生だけ特別に認めるということをすれば、三好市内全体で認めないといけなくなるので、難しい話となります。

ただ、気持はわかりますので、現在話し合っているところです。

(谷教育委員)

認めるとなると、事故があったときの責任も負わないといけないし、行き帰りの手配もしてあげないといけなくなるので、難しい問題ですね。

(岡本委員長)

他なにかございますか。

(小松委員)

24年度から三野幼稚園が休園になることになって、その後の管理のことが気になります。三野地区で現在休校している学校は地元の団体等が管理してくれていますが、幼稚園はどのようにされるのでしょうか。

(伊原学校教育課長)

建物の維持管理として窓の開け閉め等、新年度から、できれば地元の方をお願いしたいと思います。

(岡本委員長)

他になければ、これで定例会を終了します。

以上